
ちいさなゆびわ。

来夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ちいさなゆびわ。

【Nコード】

N1193V

【作者名】

来夢

【あらすじ】

ちびめりかとイギリス。

二人のおそろい婚約のちいさな婚約指輪。

俺で王子様なら、イギリスはお姫様。

春の暖かな青空の下、俺は君と二人、同じ時間を共有していた。

周り是一片の白詰草が大地を白と緑に染め上げている。

白詰草の花ひとつひとつが、あたたかな陽の光を浴びてきらきらと輝いていた。

「イギリス、大好きなんだぞ。」

そう言っただけで婚約指輪代わりに白詰草で編んで作った小さな指輪を渡す。

まだ財力も何もない俺が渡せる指輪はこんな粗末なものしかない。

けれどイギリスは少し驚いた表情を見せた後、ありがとうと言っていつものように微笑みかけてくれた。

太陽に負けないくらい暖かく、眩しいイギリスの笑み。

イギリスの大きな手をとって指にはめると、イギリスは嬉しそうに笑いながら指輪をじっと眺めていた。

そんなイギリスをぼーっと見つめる。

少し潤んだエメラルドグリーン瞳はまるで宝石のよう。

最近ではイギリスに内緒で少し遠いところまで遊びに行っているけれど、どこへ行ってもイギリスのこの瞳より綺麗なものなんてなかった。

思わずイギリスの瞳に吸い込まれたように見つめていると、俺を呼ぶイギリスの音がする。

ハッと正気に帰ってなんだい？と聞き返すと、イギリスは優しく俺

の手をとって、俺がしたみたいに白詰草の指輪をつけてくれた。指輪を見るときらきらと輝いて見えた。

白く輝いている小さな指輪に込められた、たくさんのイギリスの愛。嬉しくて、大好きだぞ！なんて言いながら笑いかけると、イギリスは俺の小さな身体を引き寄せて、ぎゅっと抱きしめてくれた。

イギリスの身体は俺をすっぽりと包み込めるほど大きくて、ぽかぽかと暖かくて安心できた。

イギリスは俺にとって太陽のような存在。

君が俺の世界はいつも明るく照らしてくれてるんだ。

「ずっと一緒だぞ。」

照れたようなイギリスの小さな声が聞こえたから、もちろんだぞと言っ指輪を見せると、イギリスの俺を抱きしめる力が少し強くなった。

暖かな太陽に包まれていると、また少しうとうとと眠気がしてきたので、ゆっくりと目を閉じた。

目を覚まして、君がそばにいますように。

(後書き)

読んでいただきありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1193v/>

ちいさなゆびわ。

2011年10月9日10時25分発行